

野田市教育委員会定例会会議録

- ◇日 時 平成29年9月27日（水）午後1時30分開会 午後2時02分閉会
- ◇場 所 野田市役所低層棟4階委員会室
- ◇出席委員 東條三枝子教育長 高橋保教育委員 伊藤稔教育委員 飯田芳彦教育委員 永瀬大教育委員
- ◇説明職員 杉山一男生涯学習部長 中村利夫教育総務課長 岡田通洋社会体育課長 横島司青少年課長（兼）青少年センター所長 寺田幸生興風図書館長 桑原辰夫学校教育部長 長妻美孝学校教育部次長（兼）学校教育課長 矢部雅彦学校教育部参事（兼）指導課長 川野尚武社会教育課長補佐

◇書 記 小関秀章教育総務課長補佐（兼）庶務係長

◇付議事件

- (1) 野田市青少年センター運営審議会委員の委嘱について

◇教育長の報告事項

- ・社会教育課
 - (1) 平成29年度第1回野田市文化財保護審議会の概要報告について
- ・社会体育課
 - (1) 平成29年度野田市スポーツ・レクリエーション祭グラウンド・ゴルフ大会について
- ・青少年課
 - (1) 第39回野田市こどもまつりの開催について
- ・興風図書館
 - (1) 平成29年度第1回野田市立図書館協議会の概要報告について
- ・指導課
 - (1) いじめの追跡調査について
 - (2) 平成29年度第1回部活動ガイドライン策定委員会の概要報告について
 - (3) 平成29年度第1回野田市小中学校児童生徒自然科学作品展について
 - (4) 平成29年度中学校体育祭における怪我の調査について
 - (5) 平成29年度野田市小中学校音楽会について
 - (6) 第71回東葛飾地方中学校駅伝競走大会について
 - (7) 図書の寄附について

◎東條教育長

ただいまから、平成29年9月教育委員会定例会を開会いたします。
それでは、会議を始めます。
本日の会議録署名委員を高橋委員にお願いいたします。
会議録承認の件に入ります。
平成29年8月定例会の会議録について、確認をお願いいたします。
御異議ございませんでしょうか。

◎全委員

(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認め、8月定例会の会議録につきましては、承認をいたします。
それでは、議案の審議に入ります。
本日の議案は1件であります。
早速、議案第1号を議題といたします。
書記、お願いします。
(書記議案朗読)

◎東條教育長

事務局から説明をお願いいたします。
青少年課長。

◎横島青少年課長

議案第1号 野田市青少年センター運営審議会委員の委嘱につきまして御説明申し上げます。
議案の1ページでございます。
本案は、野田市青少年センター運営審議会委員のうち、青少年関係行政機関の代表者として推薦のあった委員、野田警察署長について変更があったため、その残任期間について新たに委嘱しようとするものでございます。
女性委員登用率につきましては、目標50%に対しまして、審議会委員10人中、男性6人、女性4人で40%でございます。
なお、委嘱期間は、平成29年10月1日から平成31年5月31日まででございます。
よろしく御審議の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。
以上です。

◎東條教育長

ただいまの説明について、御質問等ございますでしょうか。

◎全委員

(なし)

◎東條教育長

なければ、議案第1号についてお諮りをいたします。
議案第1号について、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。
(異議なし)

◎東條教育長

御異議なしと認めます。
よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。
次に、教育長の報告事項に入ります。

報告事項に対する質問等につきましては、報告事項の説明終了後に一括して受けたいと思います。

それでは、最初に、社会教育課からお願いします。

社会教育課長補佐。

◎川野社会教育課長補佐

平成29年度第1回文化財保護審議会の概要について御報告いたします。

報告事項の1ページになります。

野田市文化財保護審議会の平成29年度第1回の会議は、平成29年8月31日に市役所706会議室において、委員6人全員の出席により開催いたしました。

会議の内容といたしましては、平成29年度事業の進捗状況及び災害関連文化財の調査について事務局から説明し、御了承いただきました。

また、審議会の石田委員から、市内民族文化財調査の成果報告をしていただき、御了承いただきました。

以上でございます。

◎東條教育長

次に、社会体育課からお願いいたします。

社会体育課長。

◎岡田社会体育課長

社会体育課から、1件御報告させていただきます。

資料は2ページ目でございます。

先の9月16日土曜日でございますが、野田市関宿総合公園グラウンド・ゴルフ場におきまして開催いたしました、野田市教育委員会主催の平成29年度野田市スポーツ・レクリエーション祭グラウンド・ゴルフ大会について御報告いたします。

当日は、男性が81名、女性が87名、合計168名の方々の御参加があり、1日楽しく過ごしていただくことができました。

なお、大会表彰者及びホールインワン賞受賞者の一覧につきましては、市のホームページに掲載してございます。

報告は以上でございます。

◎東條教育長

次に、青少年課からお願いいたします。

青少年課長。

◎横島青少年課長

青少年課より、第39回野田市子どもまつりの開催について御報告させていただきます。

当日配布資料の13ページを御覧いただきたいと思っております。

「子どもたちによりよい遊びと創造の文化を育むとともに、みんなで子どもたちを守り、健全な地域社会をつくろう」を目的に、来る10月22日午前10時から午後2時の予定で、柳沢小学校を会場に第39回野田市子どもまつりを開催いたします。

「あそぶ」、「つくる」、「体験する」、「食べる」の四つのコーナーを設け、13の参加団体が子供たちを楽しませようと趣向を凝らしたブースを開きます。

啓発につきましては、市報10月15日号に折り込みます「まなびだより」及び柳沢地区自治会等に班回覧でお知らせするとともに、近隣の各小学校5校、これは柳沢小、北部小、宮崎小、中央小、東部小の全児童及び各公民館等に、お手元に配付しましたチラシを配布する予定でございます。お時間ございましたら、是非御来場いただければ幸いです。

ます。

青少年課からは以上でございます。

◎東條教育長

次に、興風図書館からお願いします。

興風図書館長。

◎寺田興風図書館長

8月24日木曜日に開催されました、平成29年度第1回野田市立図書館協議会の概要について御報告いたします。

資料は3ページになります。

当日の協議会は、興風図書館2階会議室を会場に、委員11名中9名の御出席をいただきました。

概要としましては、6月1日付けで委嘱されました委員による初めての会議でありましたので、委員長、副委員長の選出を行いました。その結果、委員長に筒井圭子氏、副委員長に河合章男氏が選出されました。

また、平成28年度の図書館の事業実施状況、平成28年度の運営数値目標の結果及び平成29年度の事業について御報告いたしまして、了承いただきました。

以上でございます。

◎東條教育長

次に、指導課からお願いします。

指導課長。

◎矢部指導課長

指導課所管の事業につきまして、7点報告申し上げます。

1点目といたしまして、いじめ追跡調査結果についてでございます。

本日お配りしました資料14ページを御覧いただきたいと思います。

6月に児童生徒にアンケートを行い、その後、各学校への追跡調査を9月末まで行う予定であるため、途中経過ではありますが報告申し上げます。

解消率は95.9%ですが、継続支援と解消に向けまして取組中の件数が23件、学校数で申し上げますと、小学校9校で20件、中学校3校で5件でございます。現在、解消に向けて指導主事が聞き取り調査を実施しております。現時点でいじめが継続している事案が1件ありますので、その解消と予防に引き続き努めてまいります。

次回調査は10月23日から開始予定で、11月17日までに報告を受け、集約後に追跡調査を行います。

なお、新たないじめの報告はございません。

2点目です。平成29年度第1回部活動ガイドライン策定委員会の概要です。

事前にお配りしました資料の4ページでございます。

野田市の部活動の状況は、全国調査の結果と比較しますと休日の活動時間に課題があると考えております。子供も教員も安全で充実した部活動ができるよう、文化系、運動系も含めたガイドラインを策定するために、9月5日に第1回の同会議を開催いたしました。この会議には、医師会、保護者、校長会、教頭会、教員、小中学校体育連盟代表に参加していただきました。永瀬委員には、医師会代表として御参加いただき、貴重な御意見をいただきました。ありがとうございました。

児童生徒や指導者の意欲を大切にしながら、教員の多忙化の解消、児童生徒も含めた負担軽減を図ることについて、学校現場から様々な立場での意見をいただくとともに、保護

者からは、体罰や暴言、わいせつ、セクハラ防止についての検討の要望がありました。永瀬委員からは、中学生期の活動のみに視点を当てるのではなく、生涯にわたってスポーツに親しむという観点の大切さを御指摘いただきました。

さらに、10月、11月の策定委員会で協議を重ね、年度内に納得性、実効性のあるガイドライン策定を目指してまいります。

3点目、野田市小中学校自然科学作品展についてでございます。

資料5ページを御覧いただきたいと思えます。

本年度の作品展は、9月9日土曜日、10日日曜日に、市役所8階の大会議室で実施いたしました。来場者数は、2日間で1,832名でございます。また、日曜日の来場者は土曜日の約1.4倍でした。9月9日土曜日が土曜授業と重なったためと思えます。

作品展は、例年9月第一土曜日と日曜日に開催しておりますが、今年度は9月2日が第一土曜日であり、9月1日に学校が再開したばかりの土曜日では、開催が困難な状況でございました。来年度も、9月1日、2日が第一土曜日、日曜日と重なりまして、今年度と同じような状況になると推測しております。

作品数は、小中学校の出品総数は537点で、小学校が358点、中学校が179点でした。それぞれの入選作品から市の代表作品として15点を県の理科展に出品いたしました。県の理科展は、10月14日土曜日、15日日曜日に千葉市の総合教育センターで行われます。

続きまして、4点目、中学校体育祭における怪我の調査についてでございます。

本日お配りしました資料の15ページでございます。

9月16日土曜日に実施された市内中学校体育祭での怪我の状況について、報告申し上げます。

組体操の実施が取りやめになり2年目となります。昨年度の怪我は23人に対して、今年度38人と増加しました。骨折は昨年度4人で、今年度は8人です。骨折の半数は、3年生の当日の競技によるものです。また、種目別に怪我の状況を見ますと、多い順に100メートル走が26%、次が女子のタイヤ引き、男子の騎馬戦でそれぞれ16%です。この競技は、どの学校でも共通して実施していることから上位となっております。怪我の原因としまして、資料にもありますように、練習期間中に雨天の日が多く、十分な練習が行われなかったことに加え、急な動きに対応ができなかったことによるものや、休憩中や移動中の不注意等が挙げられます。特に、団体種目ではルール確認の時間や教員の補助や審判方法について、再度検討する必要があると考えております。

こうした怪我の状況を踏まえ、ふだんの生活の中や体育の授業の中で、基礎体力の向上を図るとともに、発達段階を考慮した計画によって児童生徒の安全を第一に考えた運動会、体育祭となるように今後も指導してまいります。

続きまして、5点目、市内音楽発表会についてでございます。

あらかじめお配りした資料の7ページを御覧いただきたいと思えます。

10月18日水曜日、19日木曜日に野田市文化会館において実施いたします。2日間の参加校は資料のとおりでございます。

当音楽会は、市内の児童生徒の親睦、交流の場でもあり、各学校の音楽の練習の成果が披露されます。

資料にはございませんが、音楽関係での大会結果を報告申し上げます。

9月17日日曜日に、千葉ポートアリーナでマーチングバンド・バトントワリング千葉県大会が行われ、第一中学校、南部中学校、東部中学校が金賞を受賞、南部中学校は、千葉市教育長賞を受賞いたしました。3校ともに11月4日土曜日にさいたまスーパーアリーナ

で行われる関東大会に出場予定でございます。

続きまして、6点目、第71回東葛飾地方中学校駅伝競走大会について御報告申し上げます。

資料は、8ページから11ページでございます。

今年度は、松戸市教育委員会が事務局を担当いたします。

10月21日土曜日午前10時に野田市総合公園陸上競技場をスタートし、松戸市中部小学校をゴールとした総距離32キロメートルを管内全ての公立中学校71校が参加して、10人でたすきをつなぎます。選手の頑張りに期待したいと思っております。

最後に7点目、図書の寄附でございます。

資料は12ページとなります。

野田ボランティア協会、野田戦争かたりべの会等の主催者、日佐戸輝様より、御自身が出版された「戦後70周年記念誌 昭和を生きた！野田の障害者—電波に乗せて“身障者の声” —」を11冊御寄贈いただきました。

この本は、御本人と市内在住の障がい者との対談を10年間にわたり有線放送で紹介したものが基になっております。市内の11中学校に研修図書として配布し、国語科等で活用をさせていただき予定でございます。

以上でございます。

◎東條教育長

それでは、ただいま報告のありました報告事項につきまして、御質問等ございましたらお願いいたします。

高橋委員。

◎高橋委員

指導課さん関係についてお伺いいたします。

まず1点目は、部活動のガイドライン策定委員会が発足したということでございますが、大変御苦労さまです。

この中で、先ほど説明の中に体罰、わいせつ防止、そういったものを保護者の方から検討するよという要望があったという話なんです、そういう事実関係が保護者の方が捉えられているのかどうか。少なくとも野田市においてです。一般的に心配で、そういう要望が出たのか、それとも、現実に市内で何らかの形があってそういう要望が出ているのか、その辺のところを1点教えてください。

それから、ガイドラインを策定する上で、これまでの先生方の活動意欲を損なわないように十分注意したいということが書かれているんですが、これ非常に大切なことだなというふうに思うんですけども、具体的にはどんなことをお考えになっているのか。その2点について教えていただけますでしょうか。

それから、もう一点、市内音楽会ですが、先月の定例会のときに、飯田委員さんからも質問が出たんですが、駐車場の問題、これが以前のように千秋社の駐車場を借りてということができなくなっているということがあるかと思えます。どこかに設けられると思うんですが、臨時の駐車場ということ徹底していかないと、一般の市民の皆さんが用事があって役所に来られたときに、駐車場がなくて困ったということになってくると、また音楽会に対する反省が出てくるかなというふうに思いますので、その辺のところを十分配慮していただければというふうに思います。

以上でございます。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

御質問いただきました部活動ガイドラインの、保護者から体罰、暴言、わいせつ、セクハラ防止についての検討の要望をいただいた件なんです、この保護者につきましては少年野球に関わっている方でございまして、少年野球に携わる中で、コーチ、監督から厳しい指導がある場面を見たりしてきた中で、小学校、中学校の部活動においても、こういったことがないようにしていただければ有り難いというようなことでした。それから、少年野球でもこういうことがあるから、場合によっては、部活動の中でも同様の厳しい指導等が予想されることもあるので、あらかじめ御配慮いただければというような意見をいただいたというふうに思っております。

保護者から誤解を招かないような指導をしていくことが必要であると思っておりますので、ガイドラインの中にも盛り込んでいくことが必要であるというふうに考えております。

2点目についてですが、この部活動のガイドライン策定に当たりましては、部活動の教育的な意義ということと、それから教員の働き方という部分を両方セットで考えていかなければいけないかなというふうに考えております。その中で、子供たちの教育意義を考えて熱心に指導している先生方の意欲という部分では、活動時間の制限を一律に設けることによって意欲を削いでいくことも懸念されます。

ある委員からは、小学校と中学校では部活動の現状が違うので、一律のガイドラインを設けるのは厳しいのではないかと。小学校と中学校では扱い方を変えるという、そういった考慮も必要ではないかという御意見もいただいているところでございます。

いずれにいたしましても、子供たちの教育的な意義を考えながら、効果的な部活動の在り方を考えていかなければいけないかなというふうに考えているところです。

音楽会につきましては、臨時の駐車場を柳沢小学校、それから近隣の空き地をお借りするような用意はしてあるんですが、やっぱり参加者人数が毎年増えているような状況にありますので、今後、この市内音楽会の運営そのものを考えていかなければいけない時期に来ているというふうに考えています。実行委員会は、開催ありきで進めているところもありますが、音楽会そのものの中身につきましても検討する時期に来ているのかなと考えております。

以上でございます。

◎高橋委員

ありがとうございました。

部活動の件なんです、確かにまず小学校は祝日、あるいは休みの日は、練習は基本的にはやっていないのが実情ですよね。中学校の場合には、いろいろ場所等の関係もあって、どうしても休みに活動時間を組まなくちゃいけないということもあるようなんですが、一律に時間で区切られると、先生方はきついなというのがありますし、あるいは、大会前だどうしても長くやりたいというのが、指導される先生方の気持ちかなという。その辺のことを考えますと、非常に意欲を失わないようにということは、言葉では簡単なんです、実際には難しいのかなと思いますので、私自身もどうすればいいのかという案を持っているわけではございません。十分に現場の先生方も委員の中に入っていらっしゃいますので、意見を聞きながらまとめていただきたいと思います。

ある意味では、この部活によって救われている子供たちもたくさんいるだろうということも思っていますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思っております。

以上です。

◎東條教育長

永瀬委員、委員として御出席いただきましたけれども、何か付け加えることがあれば、お願いいたします。

◎永瀬委員

初めて現場の方に出させてもらって、いろんな御意見というか、考え方を持った先生方もいらっしやいまして、なかなかこれを一つにまとめるのは難しいんじゃないかなという感想はありました。

ただ、最終的に方向性としては、やはりガイドラインというものは作成して、ちょっと霽困気的にはガイドライン自体を煙たがる先生方も案外いらっしやったんですけども、ガイドラインがあったからこそ救われる面も大分あるだろうと。特に、不慮の事故とか、例えば予想だにしない大事故が起こったときに、ガイドラインのとおりをやっていたというのであれば、やっぱり先生方もそれによって責任から守られるという部分もありますし、今までのように各個人の先生が培ってきた、長嶋茂雄さんのいう「勘ピューター」みたいな、こうすれば一番良いだろうみたいな、そういう感覚で押し通すのは、ちょっと難しい時代になっているのかなという印象は受けました。

以上です。

◎東條教育長

ありがとうございました。

ほかにいかがでしょうか。

伊藤委員さん。

◎伊藤委員

先ほどの体育祭での怪我の調査の報告についてですけれども、私も中学生とか高校生の頃に騎馬戦をやった経験がありますけれども、今でも中学校で1年から3年生までやられて、資料の14番目の第4頸椎骨折というのは相当、大変な怪我だろうなと。間違えば命を落とすような怪我ですけれども、多分上からそのまま、頭から落ちたような状況が推察されますけれども。こういう事故ですと、万が一、あるいは後遺症ですね、半身不随とか、頸椎骨折ですと起こり得ますよ。こういうことに対する予防的な指導というのは、何かやっているのでしょうか。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

統計的に騎馬戦での怪我が多いことは十分分かっておりますので、職員が張り付いて指導しているところなのですが、今回の場合は、子供が足をつかんでいる手を離すのが遅れてしまって頭から落ちたという報告は受けております。ただ、怪我を防ぐために、これからも見守りをしていかなければいけないんですが、校内で話し合いをして騎馬戦自体をやめているという学校もあるというような状況でございます。

今後、組体操に限らず、安全な運動会の運営についても検討していかなければいけないというふうに考えております。

以上です。

◎伊藤委員

どうもありがとうございます。

◎東條教育長

ほかにいかがでしょうか。

永瀬委員さん。

◎永瀬委員

先ほどの私も気になったもので、資料の14番の頸椎骨折の方は、麻痺が残っているのか残っていないかだけ教えてもらいたいですけれども。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

麻痺はないということ、後遺症も残らないだろうということです。

◎東條教育長

ほかにいかがでしょうか。

飯田委員さん。

◎飯田委員

2学期が始まって、いわゆる不登校になった方がいらっしゃいますか。いらっしゃるようでしたら、どんな状況なのか分かる範囲で教えてもらっていいですか。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

ちょっと資料を持ち合わせていないのですが、夏休みが明けてから休んでいるという児童生徒は確かに存在しております。これが、夏休みが明けてから新規で休んでいる場合と、それから夏休み前から継続している場合と両方ありますので、それぞれ学校と連絡を取り合いながら対応していきたいというふうに考えております。

以上になります。

◎東條教育長

ほかにいかがでしょうか。

高橋委員さん。

◎高橋委員

今の飯田委員さんの御質問に合わせまして、何もなかったんだろうと思いますが、特に大きな問題は発生してないのでしょうか。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

夏休み中の大きな事故については、報告を受けていない状況でございます。

◎高橋委員

休み明けは特に、新聞をにぎわせた学校が結構ありました。自殺したとか、飛び降りたとかいうのが結構続いたんですが、そういうのはなかったと思うんですが、特にこういう危惧することがありましたということはないのでしょうか。

◎東條教育長

指導課長。

◎矢部指導課長

特に今のところございません。

◎高橋委員

ありがとうございます。

◎東條教育長

ほかにはいかがでしょうか。大丈夫でしょうか。
それでは、ないようでございますので、以上で教育長の報告事項を終了いたします。
それでは、以上で本日の教育委員会定例会を閉会といたします。

以上会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

教育長

委員